



単身高齢者と空き家問題について

斉藤 貢一 議員



質問 令和7年の本市の高齢化率は30.12%、高齢者単身世帯では、1990年には4%であったものが、2030年には15.4%にまで上がると予測されています。

ネジメントを行うコーディネーターの配置や、本人に寄り添った意思決定の支援を図る総合的な支援パッケージが必要だと思われるが、支援施策の推進について伺います。

身寄りのない高齢者が生活上で抱える課題を解決するために、包括的支援のマ

答弁 必要な支援につなぐ役割については、地域包括支援センターが担い、ふく

し総合相談窓口や多機関協働支援会議、日常生活自立支援事業を進めています。また、必要に応じて成年後見制度等の権利擁護につなげ、意思決定支援も行っています。

質問 単身高齢者が地域でふだんどおりの生活ができるよう、現状の課題を踏まえ、一本化した総合パッケージとしての対応策の研究をお願いします。

成年後見人の重要な役割として、建物の破損、雨漏

りの点検等、被後見人の自宅の管理があります。国のガイドラインでは空家等管理活用支援法人の活用を推奨していますが、本市では支援法人の指定を行わないとしている理由を伺います。

答弁 各民間事業者との連携や相談窓口の活用、一般社団法人群馬県宅地建物取引業協会との連携により、一定の対応が出来ているものと考えています。なお、群馬県内で空家等管理活用支援法人の活用を実施して

いる自治体はありません。**要望** 単身高齢者や成年後見を受けている人にとつて、家の管理は悩みとなります。県内で空家等管理活用支援法人の活用事例がないのであれば、本市が率先してモデルになるべきです。アウトソーシングによる事業も活用することで、空家管理問題への対応や相談体制の構築ができると思いますので、本市にとって最良な手法の研究、検討をお願いします。

いと思います。**質問** 次に排水路整備について、お尋ねします。



茂林寺前駅西側地区の住環境整備について

篠木 正明 議員



質問 私が初めて茂林寺前駅西側地区の住環境整備について取り上げたのが16年前でした。その時、道が狭く、排水路が未整備との認識を示し、土地区画整理以外の整備手法による住環境整備が必要と答弁がありました。その後、駅前広場等の整備計画が策定されまし

た。茂林寺前駅西口広場の概要について、お尋ねします。

答弁 12月21日に西口ロータリー、西口改札、東西自由通路が供用開始となります。ロータリーにはバスやタクシーの乗り場、送迎車の駐車スペースを整備します。

質問 住環境整備の一つが西口広場整備ですが、道路整備と排水路整備が残されています。次に道路整備について、お尋ねします。

答弁 西口広場エリアでは、4路線を冠水対策も兼ねて整備中です。南北に縦断している関東学園グラウンド西側の道路については、狭いクラシクの改良工事を完了しており、現在、その北側の用地買収、拡幅工事に着手しています。南側についても、事業化に向けて計

画を進めていく予定です。また、冠水対策として整備中の宮田2号幹線排水路の管理道路を南北道路として整備する予定です。

質問 以前、南北道路が1から2路線、東西道路が少なくとも1路線必要との答弁がありました。が、東西道路の計画について、お答えください。

答弁 東西は直線道路を整備するのは難しいですが、既存の道路を拡幅して西側に抜ける道路整備を考えた

答弁 駅西口の道路整備や地区内の道路拡幅と併せて、道路側溝を整備します。宮田2号幹線排水路に関しては素掘り水路のしゅんせつを行い、一定の効果を確認しました。今後、コンクリート製の水路の整備を予定しています。また、雨水調整池の築造を計画しており、現在、掘削工事を進めています。